

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的 社員とその家族の健康維持増進に取り組み、生きがいのある健康で心も豊かな健康生活の実現を図るとともに、社会の健全な発展に努め、人に社会に喜びのタネを巻き続ける。 事業所・会社、健康保険組合、労働組合、働きさん代表による三位一体の体制で、PDCAサイクルで健康づくりを推進する「健康経営」に取り組み、社員一人一人の健康意識(ヘルスリテラシー)を高めていく。	事業全体の目標 生活習慣病の重症化予防 がん健診の受診促進 メンタルヘルスへの取り組み 健康意識(ヘルスリテラシー) の向上 健康白書の公表
---	--

事業の一覧	
職場環境の整備	
保健指導宣伝	健康推進委員会
保健指導宣伝	担当者向け冊子配布
加入者への意識づけ	
保健指導宣伝	健保だよりの発行「サンテ」
保健指導宣伝	ホームページ
保健指導宣伝	健康白書・データヘルス分析
保健指導宣伝	健診結果の共同利用（すこやかサポート21）
保健指導宣伝	医療費通知
保健指導宣伝	LINEを使った情報提供
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健康診査事業（F2&F3）
特定保健指導事業	特定保健指導事業
疾病予防	生活習慣病健診（H1）
疾病予防	生活習慣病健診（H2）
疾病予防	人間ドック健診（H3）
疾病予防	配偶者健診（F1）
疾病予防	補助金制度（部位健診）
疾病予防	婦人科健診
疾病予防	大腸がん検診(郵送)
疾病予防	受診勧奨
疾病予防	電話相談
疾病予防	KenCoM
疾病予防	みんなで歩活
疾病予防	糖尿病重症化予防プログラム
疾病予防	40歳未満保健指導(UNDER40)
疾病予防	服薬者への保健指導実施
疾病予防	ジェネリック差額通知
疾病予防	心疾患再発予防プログラム（PREVENT）
疾病予防	オンライン禁煙プログラム（リンケージ/CureApp）
疾病予防	前期高齢者保健指導(カルナヘルスサポート)

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連			
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画									
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度		
アウトプット指標												アウトカム指標										
保健指導宣伝	1	既存	健康推進委員会	全て	男女	18～ (上限なし)	被保険者	3	キ,ケ	ア	会議資料の作成等は一部外部委託 委託先：(株)フェイス	350	-	-	-	-	-	事業所での健康意識の醸成。事業所ごとの保健事業として実施。	生活習慣病リスクへの対策 【現状】 ・虚血性心疾患、脳梗塞などの重症疾患対象者が50歳代から発生（平均50歳代） ・心筋梗塞・脳卒中・糖尿病の合併症（人工透析）の発症者が増えている。			
												参加事業所の課題共有化のため、情報交換の会議開催。（活動開始前、活動開始後）各事業所で課題を決定し活動計画書作成。活動予算と共に申請し実施。（全ての対象者が参加）	各事業所実施の事例(kenc om歩活促進など)を紹介してあすなろ活動参加募集を行う。事業所が提案してきた取り組みがあれば採用し、過去の取り組み含め次年度紹介する。	各事業所実施の事例(kenc om歩活促進など)を紹介してあすなろ活動参加募集を行う。事業所が提案してきた取り組みがあれば採用し、過去の取り組み含め次年度紹介する。	各事業所実施の事例(kenc om歩活促進など)を紹介してあすなろ活動参加募集を行う。事業所が提案してきた取り組みがあれば採用し、過去の取り組み含め次年度紹介する。	各事業所実施の事例(kenc om歩活促進など)を紹介してあすなろ活動参加募集を行う。事業所が提案してきた取り組みがあれば採用し、過去の取り組み含め次年度紹介する。	各事業所実施の事例(kenc om歩活促進など)を紹介してあすなろ活動参加募集を行う。事業所が提案してきた取り組みがあれば採用し、過去の取り組み含め次年度紹介する。					
情報交換の会議開催回数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)メールにて各事業所へ、あすなろ活動実施の依頼を案内する。												活動参加者数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：100人 令和7年度：100人 令和8年度：150人 令和9年度：150人 令和10年度：200人 令和11年度：200人)事業所での健康意識（ヘルスリテラシー）の向上										
参加事業所数(【実績値】 2事業所 【目標値】 令和6年度：2事業所 令和7年度：2事業所 令和8年度：3事業所 令和9年度：3事業所 令和10年度：4事業所 令和11年度：4事業所)-																						
1,2	新規	担当者向け冊子配布	全て	男女	18～ (上限なし)	基準該当者	1	ス	シ	-	事務手続き担当者向けに年に1回冊子を送付。事業所への掲示用としてルネサンスの健康便り、(株)ﾀﾞｽｷﾝ本社産業医提供の健康だよりを事業所へ共有する。	102	-	-	-	-	-	健康意識の醸成・各種保健事業への参加率向上へつなげる	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）			
												担当者向けに年に1回冊子を送付。事業所への掲示用としてルネサンスの健康便り、(株)ﾀﾞｽｷﾝ本社産業医提供の健康だよりを事業所へ共有する。	担当者向けに年に1回冊子を送付。事業所への掲示用としてルネサンスの健康便り、(株)ﾀﾞｽｷﾝ本社産業医提供の健康だよりを事業所へ共有する。	担当者向けに年に1回冊子を送付。事業所への掲示用としてルネサンスの健康便り、(株)ﾀﾞｽｷﾝ本社産業医提供の健康だよりを事業所へ共有する。	担当者向けに年に1回冊子を送付。事業所への掲示用としてルネサンスの健康便り、(株)ﾀﾞｽｷﾝ本社産業医提供の健康だよりを事業所へ共有する。	担当者向けに年に1回冊子を送付。事業所への掲示用としてルネサンスの健康便り、(株)ﾀﾞｽｷﾝ本社産業医提供の健康だよりを事業所へ共有する。	担当者向けに年に1回冊子を送付。事業所への掲示用としてルネサンスの健康便り、(株)ﾀﾞｽｷﾝ本社産業医提供の健康だよりを事業所へ共有する。					
配付回数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：6回 令和7年度：6回 令和8年度：6回 令和9年度：6回 令和10年度：6回 令和11年度：6回)健康だよりの配布												各種保健事業実施状況で評価するため(アウトカムは設定されていません)										
加入者への意識づけ																						
												9,148	-	-	-	-	-					

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連																
				対象 事業所	性別	年齢						対象者	実施計画																						
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度															
アウトプット指標												アウトカム指標																							
保健指導 宣伝	2,5	既存	健保だよりの発行「サンテ」	全て	男女	18 ～ (上限なし)	被保険者、被扶養者	1	工	通常の分析結果に加えて健康課題、健康関連情報、健康推進委員会活動、K シ enCoM取組み等の内容を追加	外部委託により実施（印刷・校正・発送(郵送分)は(株)法研）、企画原稿編集は㈱フェイス	健保加入者（被保険者・被扶養者・任意継続者）へ配布。事業担当者へも業務利用のため配布。	健保加入者（被保険者・被扶養者・任意継続者）へ配布。事業担当者へも業務利用のため配布。	健保加入者（被保険者・被扶養者・任意継続者）へ配布。事業担当者へも業務利用のため配布。	健保加入者（被保険者・被扶養者・任意継続者）へ配布。事業担当者へも業務利用のため配布。	健保加入者（被保険者・被扶養者・任意継続者）へ配布。事業担当者へも業務利用のため配布。	健保加入者（被保険者・被扶養者・任意継続者）へ配布。事業担当者へも業務利用のため配布。	・健保組合機関誌「サンテ」。お知らせのほか健康情報を掲載して年2回発行。	疾病の早期発見 【現状】 ・平均年齢の上昇に伴い、医療費は年々増加傾向。 ・35歳以降から新生物の割合が高くなり始め、45歳以降で徐々に循環器系疾患の割合も増加する。 ・55歳以降から家族の一人当たり医療費が本人の一人当たり医療費を大幅に上回ってくる。																
																			生活習慣病リスクへの対策 【現状】 ・虚血性心疾患、脳梗塞などの重症疾患対象者が50歳代から発生（平均50歳代） ・心筋梗塞・脳卒中・糖尿病の合併症（人工透析）の発症者が増えている。																
																			がんの早期発見、早期治療 【現状】 ・R4医療費のうちがんの医療費は16%を占め、医療費、受診者数ともに年々増えている。 ・中でも婦人科系（乳房）の医療費が高く、受診者数も多い。																
																			家族の特定健診受診率向上 【現状】 本人・家族ともに特定健診受診率は全国平均を上回っているものの、家族の特定健診受診率はまだ低い。																
																			生活習慣の改善 【現状】 ・健康診断の間診表にて「朝食抜きが週3回以上」と回答する方が、全国平均に比べ高い割合。 ・喫煙率は男女とも全国平均より高い。																
発行回数(【実績値】2回付												【目標値】令和6年度：2回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回)対象者全員に送付												評価できないため (アウトカムは設定されていません)											
5	既存	ホームページ	全て	男女	0 ～ (上限なし)	加入者全員	1	工	法改正・料率変更・保健事業の開始や更新時に掲載。同時に社内イントラにも同時に掲載する。	シ	外部委託により実施	1,677	-	-	-	-	-	健康情報の更新	該当なし																
ページカウント(【実績値】1,206件 令和6年度：1,300件 令和7年度：1,350件 令和8年度：1,400件 令和9年度：1,450件 令和10年度：1,500件 令和11年度：1,550件)ページビュー率（ページカウント）月平均 前年度増												-																							
1	既存	健康白書・データヘルス分析	全て	男女	40 ～ 74	加入者全員	1	ス	健康診断にかかるデータ整備並びに健康データを活用した分析（健康白書・健康経営・データヘルス計画関連・組合会関連）	ア	外部委託により実施(委託先 (株)インテージテクノスフィア、(株)総合医科学研究所) 経営層・関係会社報告資料編集 (㈱)フェイス	14,713	-	-	-	-	-	医療費データと特定健診データを基に保健事業のPDCAサイクルを実施 全受診者がどの会場でも同じ検査項目で健診を実施できるようにする	該当なし																

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連			
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画								
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			令和10年度	令和11年度	
アウトプット指標												アウトカム指標									
健康白書の発行回数(【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)白書の発行回数（全事業所別)												それぞれの事業評価にて設定するため(アウトカムは設定されていません)									
事業主向けの説明の実施(【実績値】25社 【目標値】令和6年度：25社 令和7年度：25社 令和8年度：25社 令和9年度：25社 令和10年度：25社 令和11年度：25社)各社別の資料を配布し経営層への説明を実施												-									
1	既存		健診結果の共同利用（すこやかサポート21)	全て	男女	18～（上限なし）	加入者全員	2	エ	事業所担当者が、就業判定、健康診断受診後の健康管理業務に利用いただく。	コ		8,834	-	-	-	-	-	事業主と健保のデータの一元管理の実施	該当なし	
												健康診断結果の運用にて継続利用。利用状況アンケートの実施。すこやかサポートの利用が進んでいない事業所へのフォローを継続。10月更新時に「活用に向けた課題のヒアリング実施」操作可能な機能についてはフォローする。	健康診断結果の運用にて継続利用。利用状況アンケートの実施。すこやかサポートの利用が進んでいない事業所へのフォローを継続。	健康診断結果の運用にて継続利用。利用状況アンケートの実施。すこやかサポートの利用が進んでいない事業所へのフォローを継続。	健康診断結果の運用にて継続利用。利用状況アンケートの実施。すこやかサポートの利用が進んでいない事業所へのフォローを継続。	健康診断結果の運用にて継続利用。利用状況アンケートの実施。すこやかサポートの利用が進んでいない事業所へのフォローを継続。	健康診断結果の運用にて継続利用。利用状況アンケートの実施。すこやかサポートの利用が進んでいない事業所へのフォローを継続。	健康診断結果の運用にて継続利用。利用状況アンケートの実施。すこやかサポートの利用が進んでいない事業所へのフォローを継続。			
個別のアプローチ会社数(【実績値】26社 【目標値】令和6年度：26社 令和7年度：26社 令和8年度：26社 令和9年度：26社 令和10年度：26社 令和11年度：26社)利用状況アンケートに基づくアプローチの実施												判定未入力社数(【実績値】18社 【目標値】令和6年度：17社 令和7年度：16社 令和8年度：15社 令和9年度：14社 令和10年度：13社 令和11年度：12社)50人以上在籍する会社のうち就業判定が50%以上ほとんどはいっていない事業所									
8	既存		医療費通知	全て	男女	0～74	加入者全員	1	エ	年1回実施（1月～11月診療分）KOSMO-WEB(個人向けポータルサイト）に掲示イントラ＆HPにてお知らせと説明を掲載。希望者には文書送付にて対応。	シ	外部委託により実施 委託先：(株)大和総研ビジネス・イノベーション	152	-	-	20	20	-	診療状況の把握による医療費適正化	該当なし	
												KOSMO-WEB(個人向けポータルサイト）に掲示、毎月更新。イントラ＆HPにてお知らせと説明を掲載。希望者には文書送付にて対応。kencomよりもe-Tax用データ取込ができることについてお知らせ。	KOSMO-WEB(個人向けポータルサイト）に掲示、毎月更新。イントラ＆HPにてお知らせと説明を掲載。希望者には文書送付にて対応。	KOSMO-WEB(個人向けポータルサイト）に掲示、毎月更新。イントラ＆HPにてお知らせと説明を掲載。希望者には年1回文書送付にて対応。	KOSMO-WEB(個人向けポータルサイト）に掲示、毎月更新。イントラ＆HPにてお知らせと説明を掲載。希望者には年1回文書送付にて対応。	KOSMO-WEB(個人向けポータルサイト）に掲示、毎月更新。イントラ＆HPにてお知らせと説明を掲載。希望者には年1回文書送付にて対応。	KOSMO-WEB(個人向けポータルサイト）に掲示、毎月更新。イントラ＆HPにてお知らせと説明を掲載。希望者には年1回文書送付にて対応。				
情報提供のため(アウトプットは設定されていません)												-									
2,5	既存		LINEを使った情報提供	全て	男女	0～（上限なし）	加入者全員	1	エ	健保HPへ誘導のためお知らせ配信。健康情報の発信。健診受診登録を利用することでお友達登録促進	シ	外部委託により実施 委託先：(株)三菱総合研究所	1,320	1,320	1,320	1,320	1,320	1,320	事業内容の周知と健診受診率の向上	該当なし	
												健保HPへ誘導のためお知らせ配信。健康情報の発信。健診受診登録を利用することでお友達登録促進。ファミリー健診未受診者への受診勧奨、LINEよりの健診登録を案内する。	健保HPへ誘導のためお知らせ配信。健康情報の発信。健診受診登録を利用することでお友達登録促進。ファミリー健診未受診者への受診勧奨、LINEよりの健診登録を案内する。	健保HPへ誘導のためお知らせ配信。健康情報の発信。健診受診登録を利用することでお友達登録促進。ファミリー健診未受診者への受診勧奨、LINEよりの健診登録を案内する。	健保HPへ誘導のためお知らせ配信。健康情報の発信。健診受診登録を利用することでお友達登録促進。ファミリー健診未受診者への受診勧奨、LINEよりの健診登録を案内する。	健保HPへ誘導のためお知らせ配信。健康情報の発信。健診受診登録を利用することでお友達登録促進。ファミリー健診未受診者への受診勧奨、LINEよりの健診登録を案内する。	健保HPへ誘導のためお知らせ配信。健康情報の発信。健診受診登録を利用することでお友達登録促進。ファミリー健診未受診者への受診勧奨、LINEよりの健診登録を案内する。				
登録者数(【実績値】300人 【目標値】令和6年度：350人 令和7年度：400人 令和8年度：450人 令和9年度：500人 令和10年度：550人 令和11年度：600人)-												情報提供のため(アウトカムは設定されていません)									
個別の事業																					
特定健康診断事業	3	既存（法定）	特定健康診査事業（F2&F3）	全て	男女	40～74	被扶養者、任意継続者	1	ク、ケ	40歳以上の配偶者・家族（任意継続者含む）に巡回施設健診「ファミリー健診」の案内を外部委託先から発送。新40歳/40歳以上の3歳刻みごとにF3として人間ドックに準拠した項目を実施	シ	提携医療機関での実施：（株）総合医科学研究所に委託し、提携医療機関への対象者への申し込みにより実施。巡回検診は全国健康増進協議会ネットワークを利用。事務処理は外部委託(委託先：(株)総合医科学研究所）にて実施 案内資料編集㈱フェイス	25,050	-	-	-	-	-	生活習慣病の早期発見ならびに受診率向上	疾病の早期発見 【現状】 ・平均年齢の上昇に伴い、医療費は年々増加傾向。 ・35歳以降から新生物の割合が高くなり始め、45歳以降で徐々に循環器系疾患の割合も増加する。 ・55歳以降から家族の一人当たり医療費が本人の一人当たり医療費を大幅に上回ってくる。	
													対象者への健診の案内の実施 未受診者への督促の実施	対象者への健診の案内の実施 未受診者への督促の実施	対象者への健診の案内の実施 未受診者への督促の実施	対象者への健診の案内の実施 未受診者への督促の実施	対象者への健診の案内の実施 未受診者への督促の実施	対象者への健診の案内の実施 未受診者への督促の実施		生活習慣病リスクへの対策 【現状】 ・虚血性心疾患、脳梗塞などの重症疾患対象者が50歳代から発生（平均50歳代） ・心筋梗塞・脳卒中・糖尿病の合併症（人工透析）の発症者が増えている。	
													対象者への健診の案内の実施 未受診者への督促の実施	対象者への健診の案内の実施 未受診者への督促の実施	対象者への健診の案内の実施 未受診者への督促の実施	対象者への健診の案内の実施 未受診者への督促の実施	対象者への健診の案内の実施 未受診者への督促の実施	対象者への健診の案内の実施 未受診者への督促の実施	家族の特定健診受診率向上 【現状】 本人・家族ともに特定健診受診率は全国平均を上回っているものの、家族の特定健診受診率はまだ低い。		
	受診率（40歳以上被扶養者）（【実績値】58.6％ 【目標値】令和6年度：60％ 令和7年度：60％ 令和8年度：60％ 令和9年度：60％ 令和10年度：60％ 令和11年度：60％)提携医療機関ならびに巡回での受診者数												保健指導対象者数(【実績値】64人 【目標値】令和6年度：60人 令和7年度：60人 令和8年度：55人 令和9年度：55人 令和10年度：50人 令和11年度：50人)有所見者へのフォローを実施し該当者数を減少させる								
													18,065	-	-	-	-	-			

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連									
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画																
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度											
				アウトプット指標									アウトカム指標																
特定保健指導事業	4	既存（法定）	特定保健指導事業	全て	男女	40～74	基準該当者	1	エ,キ,ク,ケ,サ	特定健康診査結果の階層化を元に対象となる被保険者及び被扶養者へeメール（or郵送）での案内を実施し受診の可否を判断受診可の方に委託先より保健指導の実施、一部はICTを活用した初回面談を実施	ア,ウ,コ	案内は会社と連名にて実施。 保健指導の実施については外部委託先の保健師・管理栄養士によって実施 委託先：(株)総合医科学研究所・(株)セイコーエプソン・(株)リンケージ・(株)スギメディカル 案内資料・HP等告知記事編集(※)フェイス	対象者への参加案内の送付 事業主側からの参加勧奨を依頼	対象者への参加案内の送付 事業主側からの参加勧奨を依頼	対象者への参加案内の送付 事業主側からの参加勧奨を依頼	対象者への参加案内の送付 事業主側からの参加勧奨を依頼	対象者への参加案内の送付 事業主側からの参加勧奨を依頼	対象者への参加案内の送付 事業主側からの参加勧奨を依頼	特定保健指導率の向上	特定保健指導の実施率向上 【現状】 ・特定保健指導実施率は全国平均より高いが、国の目標値には届かない。 ・特定保健指導対象者のうち、申込者・未申込者で翌年以降の改善割合をみると、申込者46.5%、未申込者20%である。（特定保健指導の実施が改善効果がある）									
																				生活習慣病リスクへの対策 【現状】 ・虚血性心疾患、脳梗塞などの重症疾患対象者が50歳代から発生（平均50歳代） ・心筋梗塞・脳卒中・糖尿病の合併症（人工透析）の発症者が増えている。									
																				生活習慣の改善 【現状】 ・健康診断の間診表にて「朝食抜きが週3回以上」と回答する方が、全国平均に比べ高い割合。 ・喫煙率は男女とも全国平均より高い。									
																				特定保健指導実施率(【実績値】34.1% 【目標値】令和6年度：35% 令和7年度：38% 令和8年度：41% 令和9年度：44% 令和10年度：47% 令和11年度：50%) 特定保健指導参加比率をあげる									
													特定保健指導対象者割合(【実績値】14.4% 【目標値】令和6年度：14% 令和7年度：13.5% 令和8年度：13% 令和9年度：12.5% 令和10年度：12% 令和11年度：11.5%)-																
													特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率(【実績値】49.8% 【目標値】令和6年度：50% 令和7年度：50% 令和8年度：50% 令和9年度：50% 令和10年度：50% 令和11年度：50%)-																
疾病予防	3	既存（法定）	生活習慣病健診（H1）	全て	男女	18～39	被保険者	2	ク,ケ,サ	定期健康診断の機会を利用し実施。 巡回健診：健診機関への外部委託により集合での実施 提携医療機関での実施：提携医療機関へ対象者が申し込み実施 巡回健診委託先：（医）厚生会・(一財)京都工場保健会 提携医療機関委託先：(株)総合医科学研究所 事務代行委託先：(株)総合医科学研究所	ア,イ,コ	巡回健診：外部委託先健診機関により集合での実施 提携医療機関での実施：提携医療機関へ対象者が申し込み実施 巡回健診委託先：（医）厚生会・(一財)京都工場保健会 提携医療機関委託先：(株)総合医科学研究所	5,960	-	-	-	-	-	生活習慣病の早期発見	疾病の早期発見 【現状】 ・平均年齢の上昇に伴い、医療費は年々増加傾向。 ・35歳以降から新生物の割合が高くなり始め、45歳以降で徐々に循環器系疾患の割合も増加する。 ・55歳以降から家族の一人当たり医療費が本人の一人当たり医療費を大幅に上回ってくる。									
																					がんの早期発見、早期治療 【現状】 ・R4医療費のうちがんの医療費は16%を占め、医療費、受診者数ともに年々増えている。 ・中でも婦人科系（乳房）の医療費が高く、受診者数も多い。								
													健診実施率(【実績値】92.9% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%) 4/1在籍者を基準での受診率							UNDER40対象者数(【実績値】201人 【目標値】令和6年度：190人 令和7年度：190人 令和8年度：180人 令和9年度：180人 令和10年度：170人 令和11年度：170人) 40歳未満保健指導対象者数の減少									
	3	既存	生活習慣病健診（H2）	全て	男女	41～（上限なし）	被保険者	3	イ,ウ,ク,ケ,サ	・定期健康診断に、生活習慣病に関わる検査項目（HbA1c・随時血糖・non-LDL、眼底検査、eGFR等）を追加 ・提携医療機関受診時にはがん関連の大腸がん、婦人科健診も同時に実施 ・上記検診費用を健康保険組合で負担（100%） ・予約状況・受診状況を定期的に事業所と共有し事業主に督促依頼を実施	ア,イ,カ	巡回健診：健診機関への外部委託により集合での実施 提携医療機関での実施：提携医療機関への対象者への申し込みにより実施 健診実施は外部委託により実施 委託先：（医）厚生会・(一財)京都工場保健会・(株)総合医科学研究所	23,528	-	-	-	-	-	生活習慣病の早期発見	疾病の早期発見 【現状】 ・平均年齢の上昇に伴い、医療費は年々増加傾向。 ・35歳以降から新生物の割合が高くなり始め、45歳以降で徐々に循環器系疾患の割合も増加する。 ・55歳以降から家族の一人当たり医療費が本人の一人当たり医療費を大幅に上回ってくる。									
																		がんの早期発見、早期治療 【現状】 ・R4医療費のうちがんの医療費は16%を占め、医療費、受診者数ともに年々増えている。 ・中でも婦人科系（乳房）の医療費が高く、受診者数も多い。											
受診率(H2)(【実績値】97% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%) H2全体の受診率（一部H3からの流入あり）													特定保健指導対象者数(【実績値】775人 【目標値】令和6年度：750人 令和7年度：740人 令和8年度：730人 令和9年度：720人 令和10年度：710人 令和11年度：700人)-																
													67,174	-	-	-	-	-											

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連				
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画										
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度			
アウトプット指標												アウトカム指標											
	3	新規	人間ドック健診（H3）	全て	男女	40～（上限なし）	被保険者	3	ウ,ク,ケ	新：40歳/40歳以上の3歳刻みごと73歳まで 予約状況・受診状況を定期的に事業所と共有し事業主に督促依頼を実施	ア,イ,カ	提携医療機関での実施： 提携医療機関への対象者への申し込みにより実施 事務処理は外部委託(委託先：(株)総合医科学研究所)にて実施 本人同意にもとづき、受診しない方はH2を受診いただく。	・案内を実施（4月-5月） ・法定検診以外の費用を健康保険組合で全額負担	・案内を実施（4月-5月） ・法定検診以外の費用を健康保険組合で全額負担	・案内を実施（4月-5月） ・法定検診以外の費用を健康保険組合で全額負担	・案内を実施（4月-5月） ・法定検診以外の費用を健康保険組合で全額負担	・案内を実施（4月-5月） ・法定検診以外の費用を健康保険組合で全額負担	・案内を実施（4月-5月） ・法定検診以外の費用を健康保険組合で全額負担	生活習慣病の早期発見・がんに関する疾患の早期発見(肺・胃・大腸・婦人科（乳・子宮）)	疾病の早期発見 【現状】 ・平均年齢の上昇に伴い、医療費は年々増加傾向。 ・35歳以降から新生物の割合が高くなり始め、45歳以降で徐々に循環器系疾患の割合も増加する。 ・55歳以降から家族の一人当たり医療費が本人の一人当たり医療費を大幅に上回ってくる。 がんの早期発見、早期治療 【現状】 ・R4医療費のうちがんの医療費は16%を占め、医療費、受診者数ともに年々増えている。 ・中でも婦人科系（乳房）の医療費が高く、受診者数も多い。			
受診率(H3)(【実績値】 97.1% 【目標値】 令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)												特定保健指導対象者数(【実績値】 775人 【目標値】 令和6年度：750人 令和7年度：740人 令和8年度：730人 令和9年度：720人 令和10年度：710人 令和11年度：700人)											
	3	既存	配偶者健診（F1）	全て	男女	0～39	被扶養者	1	ケ	39歳以下の配偶者（任意継続配偶者含む）に巡回施設健診「ファミリー健診」の案内を外部委託先から発送。 未受診者には案内を実施。他の団体での受診者には健診結果提供を依頼する。	シ	提携医療機関での実施： 提携医療機関への対象者への申し込みにより実施 事務処理は外部委託(委託先：(株)総合医科学研究所)にて実施	対象者への健診の案内の実施 上記未受診者のうち、受診勧奨と他の健診結果の提供依頼	対象者への健診の案内の実施 上記未受診者のうち、受診勧奨と他の健診結果の提供依頼	対象者への健診の案内の実施 上記未受診者のうち、受診勧奨と他の健診結果の提供依頼	対象者への健診の案内の実施 上記未受診者のうち、受診勧奨と他の健診結果の提供依頼	対象者への健診の案内の実施 上記未受診者のうち、受診勧奨と他の健診結果の提供依頼	生活習慣病予防	疾病の早期発見 【現状】 ・平均年齢の上昇に伴い、医療費は年々増加傾向。 ・35歳以降から新生物の割合が高くなり始め、45歳以降で徐々に循環器系疾患の割合も増加する。 ・55歳以降から家族の一人当たり医療費が本人の一人当たり医療費を大幅に上回ってくる。 がんの早期発見、早期治療 【現状】 ・R4医療費のうちがんの医療費は16%を占め、医療費、受診者数ともに年々増えている。 ・中でも婦人科系（乳房）の医療費が高く、受診者数も多い。				
受診率（40歳未満）(【実績値】 48.5% 【目標値】 令和6年度：50% 令和7年度：50% 令和8年度：50% 令和9年度：50% 令和10年度：50% 令和11年度：50%)												UNDER40対象者数(【実績値】 188人 【目標値】 令和6年度：185人 令和7年度：180人 令和8年度：175人 令和9年度：170人 令和10年度：165人 令和11年度：160人)R5年度1回目 188人											
	3	既存	補助金制度（部位健診）	全て	男女	40～74	基準該当者	1	ス	40歳以上の被保険者及び被扶養者のうちの希望者。検査項目は脳ドック、肺ドック、胃内視鏡検査、大腸内視鏡検査 事務委託業者の(株)総合医科学研究所が、重複受診、資格確認を行い、受付から償還払い手続きをする。	シ	5月～2月末迄（健康診断と同時受診可） 補助上限10,000円税込。 事務処理は外部委託先：(株)総合医科学研究所	40歳以上の被保険者及び被扶養者のうちの希望者について実施。補助、随時。	40歳以上の被保険者及び被扶養者のうちの希望者について実施。補助、随時。	40歳以上の被保険者及び被扶養者のうちの希望者について実施。補助、随時。	40歳以上の被保険者及び被扶養者のうちの希望者について実施。補助、随時。	40歳以上の被保険者及び被扶養者のうちの希望者について実施。補助、随時。	40歳以上の被保険者及び被扶養者のうちの希望者について実施。補助、随時。	H3健診対象外の方のうち必要とされる方の重篤な疾患の早期発見	疾病の早期発見 【現状】 ・平均年齢の上昇に伴い、医療費は年々増加傾向。 ・35歳以降から新生物の割合が高くなり始め、45歳以降で徐々に循環器系疾患の割合も増加する。 ・55歳以降から家族の一人当たり医療費が本人の一人当たり医療費を大幅に上回ってくる。 がんの早期発見、早期治療 【現状】 ・R4医療費のうちがんの医療費は16%を占め、医療費、受診者数ともに年々増えている。 ・中でも婦人科系（乳房）の医療費が高く、受診者数も多い。			
受診者数(【実績値】 66人 【目標値】 令和6年度：70人 令和7年度：70人 令和8年度：70人 令和9年度：70人 令和10年度：70人 令和11年度：70人)受診者数の継続。前年件数維持を目指す。												有所見率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：20% 令和7年度：20% 令和8年度：20% 令和9年度：20% 令和10年度：20% 令和11年度：20%)全体の有所見率（F2/H2で追加項目受診者のうちの該当項目の有所見率)											
													5,541	-	-	-	-	-					

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連											
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画																	
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度										
アウトプット指標												アウトカム指標																		
	3	既存	婦人科健診	全て	女性	18 ～ (上限なし)	被保険者	1	ス	※H3健診・ファミリー健診・人間ドックの受診者は重複受診となるため対象外とする。 女性の被保険者・配偶者・40歳以上の被扶養者の希望者。 事務代行委託先の(株)総合医科学研究所に申し込み、償還払い手続きの申込をする。 (株)総合医科学研究所で重複受診・受診資格を確認。手続き書類を送付。受診希望者が医療機関を予約し受診。 ※巡回集団健診受診の事業所も償還払い方式で手続きする。	カ	10月～2月実施。 健診実施は外部委託により実施 補助上限、10,000円(税込) 巡回健診委託先：(医)厚生会・(一財)京都工場保健会 事務処理は、(株)総合医科学研究所		巡回健診実施前に事業主経由での案内。ならびに機関紙、イントラにて案内の実施。(受診率向上)	H	重複受診を避けるため、H3健診・ファミリー健診・人間ドックの受診者は対象外とする。		巡回健診実施前に事業主経由での案内。ならびに機関紙、イントラにて案内の実施。(受診率向上)	H	重複受診を避けるため、H3健診・ファミリー健診・人間ドックの受診者は対象外とする。		巡回健診実施前に事業主経由での案内。ならびに機関紙、イントラにて案内の実施。(受診率向上)	H	重複受診を避けるため、H3健診・ファミリー健診・人間ドックの受診者は対象外とする。		巡回健診実施前に事業主経由での案内。ならびに機関紙、イントラにて案内の実施。(受診率向上)	H	重複受診を避けるため、H3健診・ファミリー健診・人間ドックの受診者は対象外とする。	婦人科系疾患の早期発見	疾病の早期発見 【現状】 ・平均年齢の上昇に伴い、医療費は年々増加傾向。 ・35歳以降から新生物の割合が高くなり始め、45歳以降で徐々に循環器系疾患の割合も増加する。 ・55歳以降から家族の一人当たり医療費が本人の一人当たり医療費を大幅に上回ってくる。 がんの早期発見、早期治療 【現状】 ・R4医療費のうちがんの医療費は16%を占め、医療費、受診者数ともに年々増えている。 ・中でも婦人科系(乳房)の医療費が高く、受診者数も多い。
受診者数(【実績値】 329人 【目標値】 令和6年度：330人 令和7年度：330人 令和8年度：330人 令和9年度：330人 令和10年度：330人 令和11年度：330人)受診の促進(受診率向上) 主に巡回健診を対象												早期発見者(【実績値】 6人 【目標値】 令和6年度：5人 令和7年度：5人 令和8年度：5人 令和9年度：5人 令和10年度：5人 令和11年度：5人)当年の乳がん・子宮がん早期発見者(有所見者のうち受診後確定)																		
	3	既存	大腸がん検診(郵送)	全て	男女	18 ～ (上限なし)	被保険者	1	ク、ケ	10月～2月実施。被保険者の郵送検診。 ※H3健診の受診者は重複受診となるため対象外とする。 希望者が外部委託先に償還払い手続きの申込をする。 外部委託先で重複受診・受診資格を確認。 ※巡回集団健診受診の事業所も償還払い方式で手続きする。	シ	提携医療機関での実施：対象者への申し込みにより実施 事務処理は外部委託：(株)総合医科学研究所)にて実施	187	-	-	-	-	-	-	-	【目的】大腸がん検診(郵送)	疾病の早期発見 【現状】 ・平均年齢の上昇に伴い、医療費は年々増加傾向。 ・35歳以降から新生物の割合が高くなり始め、45歳以降で徐々に循環器系疾患の割合も増加する。 ・55歳以降から家族の一人当たり医療費が本人の一人当たり医療費を大幅に上回ってくる。 がんの早期発見、早期治療 【現状】 ・R4医療費のうちがんの医療費は16%を占め、医療費、受診者数ともに年々増えている。 ・中でも婦人科系(乳房)の医療費が高く、受診者数も多い。								
受診者数(【実績値】 75人 【目標値】 令和6年度：70人 令和7年度：70人 令和8年度：70人 令和9年度：70人 令和10年度：70人 令和11年度：70人)定期検診に付加したため減少する見込み												早期発見者(【実績値】 1人 【目標値】 令和6年度：1人 令和7年度：1人 令和8年度：1人 令和9年度：1人 令和10年度：1人 令和11年度：1人)大腸がんの当年の早期発見者1名以上。																		
	4	新規	受診勧奨	全て	男女	0 ～ (上限なし)	基準該当者	1	イ、ウ	健診結果に基づく生活習慣病リスクの高い方に対し実施。 健康保険組合事務所から保健師・看護師(外部委託先登録者)が電話勧奨する。 すこやかサポートシステム、大和システムにて健診結果、医療機関受診状況を確認して行う。	ア、イ、ウ	外部委託にて実施 委託先：(株)総合医科学研究所、(一財)京都工場保健会	11,073	-	-	-	-	-	-	-	有所見者の医療機関受診による重症化予防	生活習慣病リスクへの対策 【現状】 ・虚血性心疾患、脳梗塞などの重症疾患対象者が50歳代から発生(平均50歳代) ・心筋梗塞・脳卒中・糖尿病の合併症(人工透析)の発症者が増えている。 生活習慣病リスク該当者の医療機関受診率の向上 【現状】 ・医療機関未受診の方が多い。血糖1割、血圧4割、脂質7割、肝機能・腎機能が8割が未受診。								
受診勧奨者数(【実績値】 427人 【目標値】 令和6年度：400人 令和7年度：400人 令和8年度：400人 令和9年度：400人 令和10年度：400人 令和11年度：400人)有所見者のうち未受診者への保健師による受診勧奨の実施割合(※ヘルスケア確認)												受診済率(【実績値】 57.2% 【目標値】 令和6年度：60% 令和7年度：62% 令和8年度：64% 令和9年度：66% 令和10年度：68% 令和11年度：70%)受診勧奨後、実際に受診した人数を増やす。 ※「緊急」「優先」に該当する方の生活習慣病での受診有無で算出																		
	5,6	既存	電話相談	全て	男女	0 ～ (上限なし)	加入者全員	1	ス	希望者個人が外部委託先の受付窓口で電話し相談申し込み。 情報閲覧のサイトも設置。 広報誌、健保HPで公表。	ウ	外部委託にて実施 委託先：(株)ALSOKあんしんケアサポート	345	-	-	-	1,344	-	-	-	受診者の心身両面の健康維持、改善方法及び情報の提供。	該当なし								
案内実施回数(【実績値】 2回 【目標値】 令和6年度：2回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回)広報紙を通じた案内実施												問合せ件数(【実績値】 186件 【目標値】 令和6年度：180件 令和7年度：180件 令和8年度：180件 令和9年度：180件 令和10年度：180件 令和11年度：180件)電話相談件数																		
													2,263	-	-	-	-	-	-	-										

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施 主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連	
				対象 事業所	性別	年齢						対象者	実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
	2,5,7		KenCoM	全て	男女	18 ～ (上 限 なし)	加入者 全員	1	エ	I健康診断の結果閲覧、医療費通知、健康情報の配信	シ	外部委託にて実施 委託先：DeSCヘルスケア(株)、案内記事企画編集 関フェイス	HP内や健保だよりでイベント紹介。年間スケジュールの案内 イントラにて手順等の揭示。定期的に事業所向けに登録状況をフィードバック	HP内や健保だよりでイベント紹介。年間スケジュールの案内 イントラにて手順等の揭示。定期的に事業所向けに登録状況をフィードバック	HP内や健保だよりでイベント紹介。年間スケジュールの案内 イントラにて手順等の揭示。定期的に事業所向けに登録状況をフィードバック	HP内や健保だよりでイベント紹介。年間スケジュールの案内 イントラにて手順等の揭示。定期的に事業所向けに登録状況をフィードバック	HP内や健保だよりでイベント紹介。年間スケジュールの案内 イントラにて手順等の揭示。定期的に事業所向けに登録状況をフィードバック	HP内や健保だよりでイベント紹介。年間スケジュールの案内 イントラにて手順等の揭示。定期的に事業所向けに登録状況をフィードバック	健康無関心層へのヘルスリテラシーの向上	生活習慣の改善 【現状】 ・健康診断の間診表にて「朝食抜きが週3回以上」と回答する方が、全国平均に比べ高い割合。 ・喫煙率は男女とも全国平均より高い。
Kencom登録率(【実績値】38.3% 【目標値】令和6年度：39% 令和7年度：39.5% 令和8年度：40% 令和9年度：40.5% 令和10年度：41% 令和11年度：41.5%)-												運動習慣実施率(【実績値】29% 【目標値】令和6年度：30% 令和7年度：31% 令和8年度：32% 令和9年度：33% 令和10年度：34% 令和11年度：35%)週1回以上の運動習慣該当割合								
	5	既存	みんなで歩活	全て	男女	18 ～ (上 限 なし)	加入者 全員	3	ア,エ	年2回(春・秋)に実施。 チーム対抗でインセンティブ。(賞品を用意)。チームは2人以上の構成で登録可。 事業主、労働組合に告知、促進の協力を得る。 結果や感想をHP、社内イントラ、広報誌に掲載。	ア	外部委託にて実施 委託先：DeSCヘルスケア(株) 表彰状・資料作成 関フェイス	年2回実施 2人以上のチームor1人参加も可能として参加者を増やす。 事業主への登録状況の連絡 事業所への啓発リーフレット・ポスターの送付	年2回実施 2人以上のチームor1人参加も可能として参加者を増やす。 事業主への登録状況の連絡 事業所への啓発リーフレット・ポスターの送付	年2回実施 2人以上のチームor1人参加も可能として参加者を増やす。 事業主への登録状況の連絡 事業所への啓発リーフレット・ポスターの送付	年2回実施 2人以上のチームor1人参加も可能として参加者を増やす。 事業主への登録状況の連絡 事業所への啓発リーフレット・ポスターの送付	年2回実施 2人以上のチームor1人参加も可能として参加者を増やす。 事業主への登録状況の連絡 事業所への啓発リーフレット・ポスターの送付	年2回実施 2人以上のチームor1人参加も可能として参加者を増やす。 事業主への登録状況の連絡 事業所への啓発リーフレット・ポスターの送付	運動習慣の定着	生活習慣の改善 【現状】 ・健康診断の間診表にて「朝食抜きが週3回以上」と回答する方が、全国平均に比べ高い割合。 ・喫煙率は男女とも全国平均より高い。
参加率(【実績値】23.6% 【目標値】令和6年度：24% 令和7年度：24.5% 令和8年度：25% 令和9年度：25.5% 令和10年度：26% 令和11年度：26.5%)実施者数/Kencom登録者数												歩行習慣の実施率(【実績値】52.7% 【目標値】令和6年度：53% 令和7年度：53.5% 令和8年度：54% 令和9年度：54.5% 令和10年度：55% 令和11年度：55.5%)日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施している方の割合								
	4	新規	糖尿病重症化 予防プログラム	全て	男女	0 ～ (上 限 なし)	基準該 当者	1	エ,キ,ク,ケ, サ	対象者への参加勧奨を行う。(外部委託先) 不参加の方へ健保の保健師、看護師から参加勧奨を行う。 プログラムの実施は、外部委託先が実施。	ア	案内は会社と連名にて実施。 外部委託にて実施 委託先：㈱データホライゾン、(株)総合医科学研究所	健診結果、レセプトをもとに対象者を抽出。 対象者への郵送・電話にて参加勧奨の実施 重症化リスク度により、重症度リスクが中高度には看護師による重症化予防プログラムを実施、 軽中度の方には、管理栄養士による保健指導の実施 合わせて非糖尿病性腎症予防・心血管疾患予防プログラムも実施	健診結果、レセプトをもとに対象者を抽出。 対象者への郵送・電話にて参加勧奨の実施 重症化リスクが中高度には看護師による重症化予防プログラムを実施、 軽中度の方には、管理栄養士による保健指導の実施 合わせて非糖尿病性腎症予防・心血管疾患予防プログラムも実施	健診結果、レセプトをもとに対象者を抽出。 対象者への郵送・電話にて参加勧奨の実施 重症化リスク度により、重症度リスクが中高度には看護師による重症化予防プログラムを実施、 軽中度の方には、管理栄養士による保健指導の実施 合わせて非糖尿病性腎症予防・心血管疾患予防プログラムも実施	健診結果、レセプトをもとに対象者を抽出。 対象者への郵送・電話にて参加勧奨の実施 重症化リスク度により、重症度リスクが中高度には看護師による重症化予防プログラムを実施、 軽中度の方には、管理栄養士による保健指導の実施 合わせて非糖尿病性腎症予防・心血管疾患予防プログラムも実施	健診結果、レセプトをもとに対象者を抽出。 対象者への郵送・電話にて参加勧奨の実施 重症化リスク度により、重症度リスクが中高度には看護師による重症化予防プログラムを実施、 軽中度の方には、管理栄養士による保健指導の実施 合わせて非糖尿病性腎症予防・心血管疾患予防プログラムも実施	健診結果、レセプトをもとに対象者を抽出。 対象者への郵送・電話にて参加勧奨の実施 重症化リスクが中高度には看護師による重症化予防プログラムを実施、 軽中度の方には、管理栄養士による保健指導の実施 合わせて非糖尿病性腎症予防・心血管疾患予防プログラムも実施	【目的】糖尿病重症化予防	生活習慣病リスクへの対策 【現状】 ・虚血性心疾患、脳梗塞などの重症疾患対象者が50歳代から発生(平均50歳代) ・心筋梗塞・脳卒中・糖尿病の合併症(人工透析)の発症者が増えている。
対象者の参加率(中高度)(【実績値】0% 【目標値】令和6年度：10% 令和7年度：10% 令和8年度：10% 令和9年度：10% 令和10年度：10% 令和11年度：10%)データホライゾン対象分(糖尿病性腎症・非糖尿病性腎症)												新規透析実施者(【実績値】- 【目標値】令和6年度：0人 令和7年度：0人 令和8年度：0人 令和9年度：0人 令和10年度：0人 令和11年度：0人)糖尿病に起因する新規透析実施者								
対象者の参加率(軽中度)(【実績値】4.8% 【目標値】令和6年度：10% 令和7年度：10% 令和8年度：10% 令和9年度：10% 令和10年度：10% 令和11年度：10%)総合医科学研究所対象分																				
	4	新規	40歳未満保健指導(UNDER40)	全て	男女	18 ～ 40	基準該 当者	1	エ,キ,ク,ケ, サ	特定健康診査結果の階層化を元に対象となる被保険者及び被扶養者へメール(or郵送)での案内を実施し受診の可否を判断 受診可の方に委託先より保健指導の実施、一部はICT・WEBサービス等を活用した初回面談を実施 プログラムによってはウェアラブル等のツールを利用。	ア,エ	案内は会社と連名にて実施。 外部委託にて実施：セイコーエプソン・専門医ヘルスケアネットワーク・リンケージ・スギメディカル 事務委託先：総合医科学研究所	特定保健指導の基準に該当するが、40歳未満であるため対象から外れた方が対象。 (服薬者除く) 案内を送付し保健指導を実施	特定保健指導の基準に該当するが、40歳未満であるため対象から外れた方が対象。 (服薬者除く) 案内を送付し保健指導を実施	特定保健指導の基準に該当するが、40歳未満であるため対象から外れた方が対象。 (服薬者除く) 案内を送付し保健指導を実施	特定保健指導の基準に該当するが、40歳未満であるため対象から外れた方が対象。 (服薬者除く) 案内を送付し保健指導を実施	特定保健指導の基準に該当するが、40歳未満であるため対象から外れた方が対象。 (服薬者除く) 案内を送付し保健指導を実施	特定保健指導の基準に該当するが、40歳未満であるため対象から外れた方が対象。 (服薬者除く) 案内を送付し保健指導を実施	生活習慣病予備群の減少による40歳受診時の特定保健指導該当者数の減少	生活習慣病リスクへの対策 【現状】 ・虚血性心疾患、脳梗塞などの重症疾患対象者が50歳代から発生(平均50歳代) ・心筋梗塞・脳卒中・糖尿病の合併症(人工透析)の発症者が増えている。
参加率(【実績値】27.3% 【目標値】令和6年度：28% 令和7年度：28.5% 令和8年度：29% 令和9年度：29.5% 令和10年度：30% 令和11年度：30.5%)-												新40歳の特定保健指導該当割合(【実績値】16.5% 【目標値】令和6年度：16% 令和7年度：15.5% 令和8年度：15% 令和9年度：15% 令和10年度：15% 令和11年度：15%)-								
-												40歳未満のリスク保有者(【実績値】186人 【目標値】令和6年度：180人 令和7年度：175人 令和8年度：170人 令和9年度：165人 令和10年度：160人 令和11年度：155人)プログラム参加候補者								
													12,157	-	-	-	-	-		

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者			注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連				
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画										
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度			
アウトプット指標												アウトカム指標											
4	新規		服薬者への保健指導実施	全て	男女	40～（上限なし）	基準該当者	1	エ,キ,ク,ケ,サ	服薬をしていなければ、特定保健指導対象者となっている方を抽出。対象者にメール・郵送・電話を通じ参加勧奨。外部委託先にてプログラム実施。	ア	案内は会社と連名にて実施。外部委託にて実施：セイコーエプソン・専門医ヘルスケアネットワーク・リンケージ・スギメディカル 事務委託先：総合医科学研究所	特定保健指導の基準に該当するが、服薬しているため対象から外れた方が対象。メール・郵送・電話を通じた参加呼びかけの実施	特定保健指導の基準に該当するが、服薬しているため対象から外れた方が対象。メール・郵送・電話を通じた参加呼びかけの実施	特定保健指導の基準に該当するが、服薬しているため対象から外れた方が対象。メール・郵送・電話を通じた参加呼びかけの実施	特定保健指導の基準に該当するが、服薬しているため対象から外れた方が対象。メール・郵送・電話を通じた参加呼びかけの実施	特定保健指導の基準に該当するが、服薬しているため対象から外れた方が対象。メール・郵送・電話を通じた参加呼びかけの実施	特定保健指導の基準に該当するが、服薬しているため対象から外れた方が対象。メール・郵送・電話を通じた参加呼びかけの実施	生活習慣病の重症化予防	生活習慣病リスクへの対策 【現状】 ・虚血性心疾患、脳梗塞などの重症疾患対象者が50歳代から発生（平均50歳代） ・心筋梗塞・脳卒中・糖尿病の合併症（人工透析）の発症者が増えている。			
参加率(【実績値】 30.5% 【目標値】 令和6年度：30% 令和7年度：30% 令和8年度：30% 令和9年度：30% 令和10年度：30% 令和11年度：30%)-												翌年のリスク保有者割合(【実績値】 11.9% 【目標値】 令和6年度：12% 令和7年度：12% 令和8年度：12% 令和9年度：12% 令和10年度：12% 令和11年度：12%)参加者のうち検査項目で次年度対象外となる割合											
7	新規		ジェネリック差額通知	全て	男女	0～（上限なし）	基準該当者	1	ク	年1回実施 3カ月間の調剤自己負担額500円以上の差が出る方への通知を送付。	シ	外部委託にて実施 委託先：(株)オックス	・自己負担差額が一定以上の対象者について差額通知を郵送（年1回）	・自己負担差額が一定以上の対象者について差額通知を郵送（年1回）	・自己負担差額が一定以上の対象者について差額通知を郵送（年1回）	・自己負担差額が一定以上の対象者について差額通知を郵送（年1回）	・自己負担差額が一定以上の対象者について差額通知を郵送（年1回）	・自己負担差額が一定以上の対象者について差額通知を郵送（年1回）	後発品使用割合の向上	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）			
通知回数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-												後発品使用率(数量) (【実績値】 83.8% 【目標値】 令和6年度：84% 令和7年度：84.5% 令和8年度：85% 令和9年度：85% 令和10年度：85% 令和11年度：85%)-											
4	新規		心疾患再発予防プログラム(PREVENT)	全て	男女	18～74	基準該当者	1	イ,エ,オ,キ,ク,サ	外部委託先より対象者への参加勧奨を行う。プログラムの実施は、外部委託先が実施。	ウ	外部委託先にて実施。案内は会社と連名にて実施。委託先：関PREVENT	健診結果、レセプトをもとに対象者を抽出。心筋梗塞・脳梗塞発症したことがある方向け。対象者への郵送・電話にて参加勧奨の実施	健診結果、レセプトをもとに対象者を抽出。心筋梗塞・脳梗塞発症したことがある方向け。対象者への郵送・電話にて参加勧奨の実施	健診結果、レセプトをもとに対象者を抽出。心筋梗塞・脳梗塞発症したことがある方向け。対象者への郵送・電話にて参加勧奨の実施	健診結果、レセプトをもとに対象者を抽出。心筋梗塞・脳梗塞発症したことがある方向け。対象者への郵送・電話にて参加勧奨の実施	健診結果、レセプトをもとに対象者を抽出。心筋梗塞・脳梗塞発症したことがある方向け。対象者への郵送・電話にて参加勧奨の実施	健診結果、レセプトをもとに対象者を抽出。心筋梗塞・脳梗塞発症したことがある方向け。対象者への郵送・電話にて参加勧奨の実施	【目的】心血管疾患発症予防	生活習慣病リスクへの対策 【現状】 ・虚血性心疾患、脳梗塞などの重症疾患対象者が50歳代から発生（平均50歳代） ・心筋梗塞・脳卒中・糖尿病の合併症（人工透析）の発症者が増えている。			
通知対象者数(【実績値】 37人 【目標値】 令和6年度：35人 令和7年度：35人 令和8年度：35人 令和9年度：35人 令和10年度：35人 令和11年度：35人)-												参加者数(【実績値】 6人 【目標値】 令和6年度：5人 令和7年度：5人 令和8年度：5人 令和9年度：5人 令和10年度：5人 令和11年度：5人)-											
-												再入院者数(【実績値】 0人 【目標値】 令和6年度：0人 令和7年度：0人 令和8年度：0人 令和9年度：0人 令和10年度：0人 令和11年度：0人)参加者のうち循環器疾患での入院あり人数											
5	新規		オンライン禁煙プログラム(リンケージ/CureApp)	全て	男女	20～74	基準該当者	1	エ,ケ	HP、社内イントラ、広報誌へのチラシ同封、各関係会社管理担当者にプログラムの案内。オンライン指導のためPC、スマホ使用可能な方を対象に募集。	ウ	専門家による、オンライン禁煙外来指導。	医師によるオンライン禁煙PG(リンケージ)と健保連サポート事業(CureAPP)の継続。健保日より(年2回発行)に案内チラシ同封。健診結果より対象者を抽出し、メールアドレスのある方(総医研より提供)へ案内(7月頃)	医師によるオンライン禁煙PG(リンケージ)と健保連サポート事業(CureAPP)の継続。健保日より(年2回発行)に案内チラシ同封。健診結果より対象者を抽出し、メールアドレスのある方(総医研より提供)へ案内(7月頃)	医師によるオンライン禁煙PG(リンケージ)と健保連サポート事業(CureAPP)の継続。健保日より(年2回発行)に案内チラシ同封。健診結果より対象者を抽出し、メールアドレスのある方(総医研より提供)へ案内(7月頃)	医師によるオンライン禁煙PG(リンケージ)と健保連サポート事業(CureAPP)の継続。健保日より(年2回発行)に案内チラシ同封。健診結果より対象者を抽出し、メールアドレスのある方(総医研より提供)へ案内(7月頃)	医師によるオンライン禁煙PG(リンケージ)と健保連サポート事業(CureAPP)の継続。健保日より(年2回発行)に案内チラシ同封。健診結果より対象者を抽出し、メールアドレスのある方(総医研より提供)へ案内(7月頃)	参加者の禁煙または減煙達成による喫煙率の減少	生活習慣の改善 【現状】 ・健康診断の間診表にて「朝食抜きが週3回以上」と回答する方が、全国平均に比べ高い割合。 ・喫煙率は男女とも全国平均より高い。				
案内実施(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：3回 令和7年度：3回 令和8年度：3回 令和9年度：3回 令和10年度：3回 令和11年度：3回)HP・チラシ、各関係会社管理部長への案内等で参加者募集												禁煙達成者(【実績値】 21人 【目標値】 令和6年度：24人 令和7年度：24人 令和8年度：24人 令和9年度：24人 令和10年度：24人 令和11年度：24人)禁煙並びに減煙達成者											
参加者数(【実績値】 23人 【目標値】 令和6年度：30人 令和7年度：30人 令和8年度：30人 令和9年度：30人 令和10年度：30人 令和11年度：30人)-												-											
4	既存		前期高齢者保健指導(カルナヘルスサポート)	全て	男女	50～（上限なし）	基準該当者	1	ス	外部委託先より対象者への参加勧奨を行う。プログラムの実施は、外部委託先が実施。	ア,ウ	外部委託にて実施。案内は会社と連名にて実施。委託先：(株)カルナヘルスサポート	健診結果、レセプトをもとに対象者を抽出。50歳以上のリスク保有者向け。対象者への郵送・電話にて参加勧奨の実施	健診結果、レセプトをもとに対象者を抽出。50歳以上のリスク保有者向け。対象者への郵送・電話にて参加勧奨の実施	健診結果、レセプトをもとに対象者を抽出。50歳以上のリスク保有者向け。対象者への郵送・電話にて参加勧奨の実施	健診結果、レセプトをもとに対象者を抽出。50歳以上のリスク保有者向け。対象者への郵送・電話にて参加勧奨の実施	健診結果、レセプトをもとに対象者を抽出。50歳以上のリスク保有者向け。対象者への郵送・電話にて参加勧奨の実施	前期高齢者の医療費削減	生活習慣病リスクへの対策 【現状】 ・虚血性心疾患、脳梗塞などの重症疾患対象者が50歳代から発生（平均50歳代） ・心筋梗塞・脳卒中・糖尿病の合併症（人工透析）の発症者が増えている。				
参加人数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：10人 令和7年度：10人 令和8年度：10人 令和9年度：10人 令和10年度：10人 令和11年度：10人)-												1人当たり医療費（前期高齢者）(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：99% 令和7年度：99% 令和8年度：99% 令和9年度：99% 令和10年度：99% 令和11年度：99%)前期高齢者の1人当たり医療費(前年比)											

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認（要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況） ウ. 受診状況の確認（がん検診・歯科健診の受診状況） エ. ICTの活用 オ. 専門職による健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施
ク. 対象者の抽出（優先順位づけ、事業所の選定など） ケ. 参加の促進（選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備） コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 就業時間内も実施可（事業主と合意） シ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス. その他

注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 外部委託先の専門職との連携体制の構築 エ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 オ. 自治体との連携体制の構築 カ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 キ. 保険者協議会との連携体制の構築 ク. その他の団体との連携体制の構築
ケ. 保険者内の専門職の活用（共同設置保健師等を含む） コ. 運営マニュアルの整備（業務フローの整理） サ. 人材確保・教育（ケースカンファレンス／ライブラリーの設置） シ. その他